



伝統と現代が交差する空間 — リボーン仏壇の実例

扉一枚が隔てる、日常の静寂と非日常の荘厳



現代の住まいに、伝統の金仏壇をどう美しく収めるか？

世代を超えて受け継がれる立派な金仏壇。しかし、現代のライフスタイルや和モダンな空間には、その存在感が大きすぎる場合があります。

私たちの提案は、仏壇を「隠す」のではなく、空間に「調和」させる新しい形、**リボーン仏壇**です。

継承

既存の仏壇の
美しさを活かす

調和

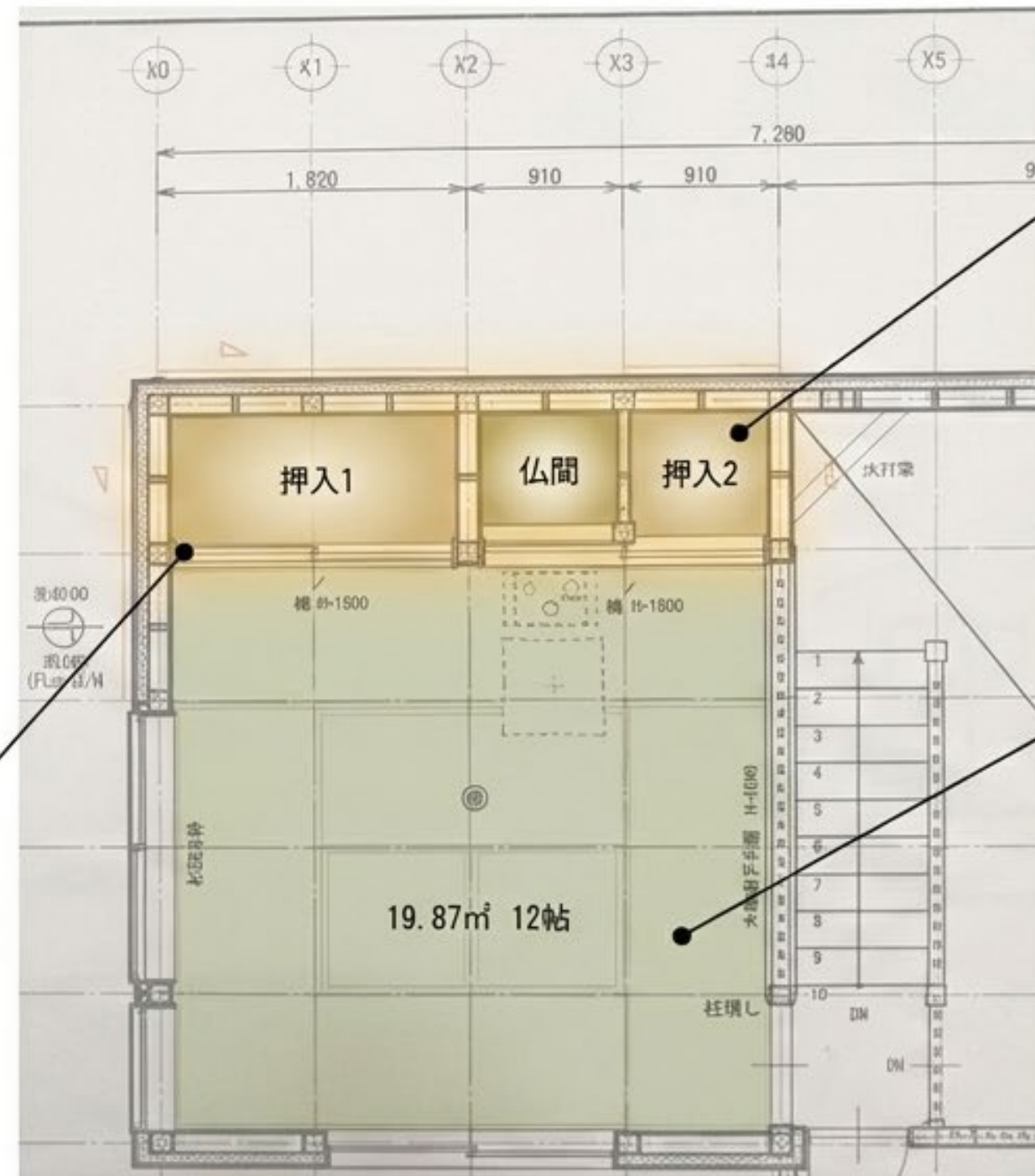
建築化され、壁面と
一体化するデザイン

機能

現代の生活動線を
妨げない設計

空間設計：クローゼットと一体化する仏間

③
伝統的なモジュール
(910mmグリッド) に
美しく収まる寸法計画。



①
壁面をフラットに揃え、
建築の一部として設計。

②
12帖の客間（和室）の広が
りを一切損なわない配置。

完成予想図：和室に溶け込む設計

空間の広がりを感じず、日常の風景に自然に馴染むよう計算されたパース図。囲炉裏を囲む団欒の場と、静かに祈りを捧げる場が、違和感なく共存する空間を設計の初期段階から描いています。



【日常】洗練されたクローゼット風の佇まい

ノイズレスな白いフラット扉。
壁面と同化し、圧迫感を排除。

和室の白木（ヒノキ/スギ）と
調和する美しい見切り。

扉を閉めた状態でも、日常的なお
供えや礼拝が可能な経机の配置。

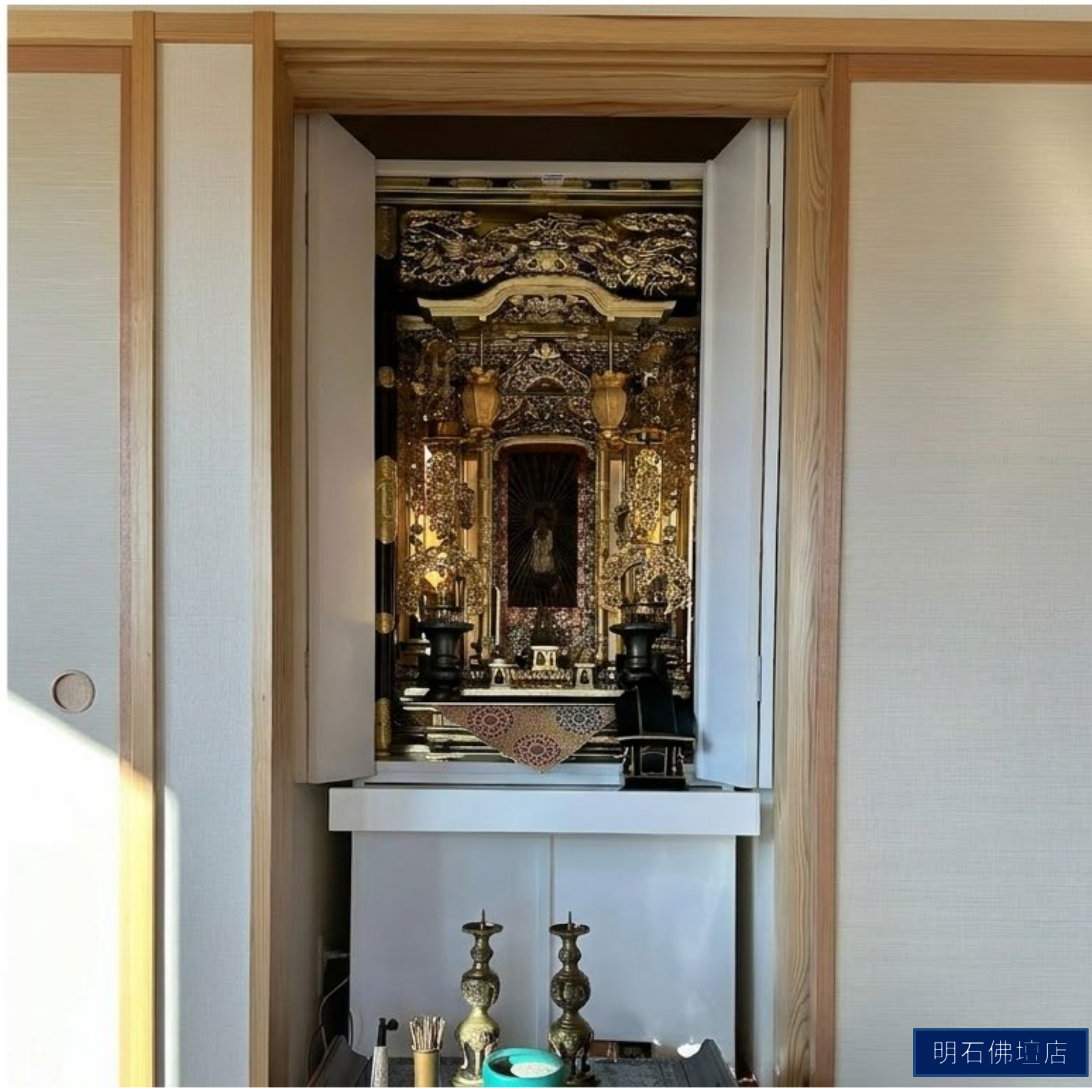
扉を閉めれば、そこが仏間であることを感じさせない
スッキリとした外観。
現代の和室のトーン&マナーを崩しません。



【非日常】

扉の奥に広がる、
荘厳なる金仏壇の世界

シンプルな白い扉を開くと、
息を呑むような伝統美が現れます。
外観の「静」と内部の「動」、この圧倒
的なギャップこそがリボン仏壇の
真骨頂です。



空間が持つ「二面性」の美学



閉時

モダン・ノイズレス

生活空間との完全な調和

日常の安らぎ



開時

荘厳・伝統的

祈りの空間としての独立性と結界

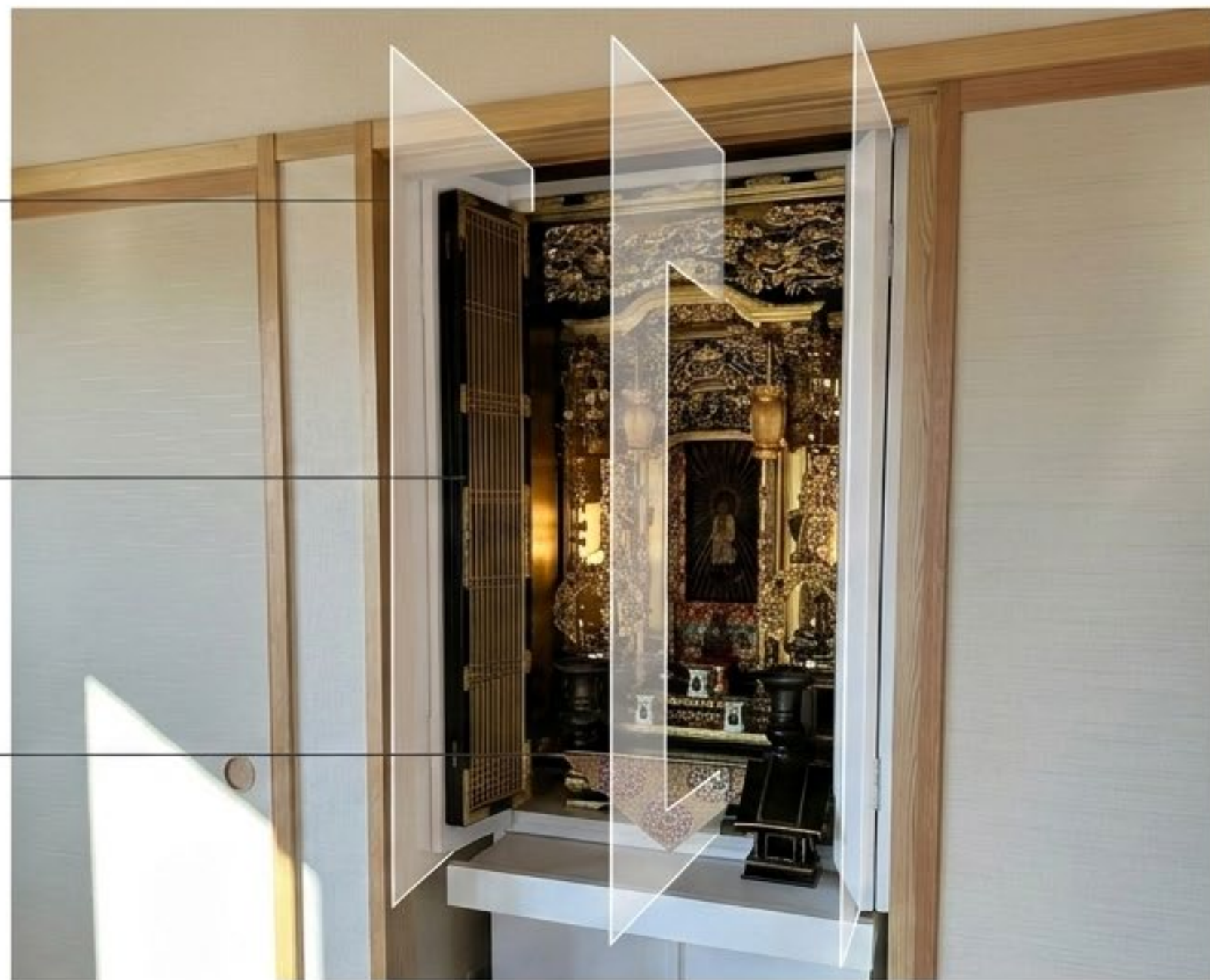
精神の切り替え・非日常への没入

計算された奥行きと機能性


外扉 - 白くフラットなデザインで壁と一体化。
空間をスッキリ見せる第一の層。

内扉と障子 - 仏壇本来の精巧な建具はそのまま
活かし、伝統の意匠を保存する第二の層。

本尊と内陣 - 緻密な金細工と彫刻が輝く祈りの
中心。



経机（手前の机）の配置も、外扉の開閉軌道を緻密に計算し、日常のお参りにおける動作の負担をなくしています。



想いを受け継ぎ、 今の暮らしに寄り添う

大切なご先祖様を祀る立派な金仏壇。
手放すのではなく、住空間の設計という工夫によって
見事に「再生」させることができます。

日常の美しさと、祈りの尊さ。
その両立を叶えるのが、私たちの「リボーン仏壇」の提案です。